

平成24年度第2回「大村知事と語る会」 意見交換要旨

1. 日時 平成24年9月10日(月) 14:00~16:00
2. 場所 あいち国際プラザ 2階 アイリスルーム
3. 参加者(五十音順・敬称略)

石川 クラウディア 一舞	イギリス ウクライナ	名古屋大学留学生センター准教授 株式会社一駒
エリック オルソンキクチ	アメリカ	学校法人名古屋国際学園 渉外開発室室長
クリスチアン オチア	コンゴ民主共和国	名古屋大学大学院(大学院生) ウェスティンナゴヤキャッスル
チェ ヨンファン	韓国	顧客開発本部セールスマネージャー
張 敬清	中国	株式会社Keisei
ファ ヤー ティエン	ベトナム	豊橋技術科学大学(大学生)
ミリアム ゼール	ドイツ	名古屋大学大学院(大学院生)

【クリスチアン・オチア】 愛知の魅力をPRするには、まず愛知のセンス、イメージを見きわめて、その後はブランドイメージをつくり上げることが、すごく大事。あと、愛知は日本の真ん中、そして、東京と大阪と京都もすごく近く、東京や大阪と比べてすごく住みやすい。実はインフラもすごく簡単だし、物価も安い。

アフリカ人が日本に行く前に考えることは何かを話したい。アフリカでは、学校で日本の歴史、例えば徳川とか侍のことをみんな勉強した。あとは今、日本の自動車、例えばトヨタとかがすごく有名だが、みんなはトヨタがどこか分からない。だから、みんな日本に行く前に東京とか大阪に目が行く。

でも、私は日本に来て今3年になるが、日本に行く前に名古屋を一番に提案していいと思う。どうしてかという、例えば名古屋は日本の3番目に大きな都市だ。でも、大阪と東京はすごく人が多くて、留学生というか、アフリカの人にとって住みやすくないから、名古屋に住んで、名古屋から大阪や東京とか京都へ行けばいい。それに新幹線もある。だから、その愛知のブランドイメージをつくって、アフリカでPRをしたらすごくいいと思う。

あとは愛知に来れば日本らしい日本を感じられる。例えば、名古屋の人は大阪の人とか京都の人と比べ、すごく日本らしい日本人だと思う。実は東京はみんなどこかから来ている。例えば大阪の人と静岡の人とかは、みんな東京に行っている。でも、名古屋は地元の人が多い。だから、日本で日本人の文化を勉強するためには、名古屋が一番いい場所だと

思う。だから、私はいつも名古屋にいてすごくたくさん日本の文化を勉強している。

愛知は、たくさんブランドイメージを持っている。でも、プロモーションがない。例えば愛知は侍スピリットのホーム。日本のサッカーチームは侍という名前。でも、侍がどのものか誰も知らない。例えば徳川とか、たくさん侍が愛知から生み出された。だから、そのイメージをつかって、プロモーションすれば、アフリカで愛知のことをすごくPRできる。

アフリカはみんなすごく音楽が大好き。例えば、2010年のときに南アフリカでワールドカップがあった。でも、その前のワールドカップと違って、アフリカのワールドカップではアメリカのミュージシャンのシャキーラが音楽をつくった。その音楽のタイトルは「This time for Africa」。すごくアフリカっぽいワカワカという音楽をつくった。今ユーチューブを調べれば、ワカワカはすごくみんな見ている。

だから、愛知をアフリカでPRするには、例えばアフリカのミュージシャンに侍っぽくしてとか、浴衣を着てもらって音楽をつくる。愛知はトヨタがあり、アフリカ人は伝統的なものとモダンなものが好きなので、まず侍のを見せて、あとトヨタのロボットを見せて、それをミュージシャンが音楽でその話をして、侍っぽくして、一宮の服とか、愛知からの浴衣を着てもらって音楽をつくれれば、それはすごくいいと思う。

【ミリアム・ゼール】 愛知県をどうすればアピールすることができるかの前に、ちょっと私のことを説明すると、1年間松山の愛媛大学で勉強して、ドイツに帰ってドイツの大学を卒業した。その後はまだ日本で勉強しようかなと思い、どこで勉強したらいいかとインターネットで調べ、名古屋を選んだ。それはいろいろな理由があり、第1には、今の指導教官が私のテーマに近い研究をしていること、あと名古屋は都会だが、私は人が多いまちはあまり好きじゃなく、ここは都会といっても静かな場所もあるし、にぎやかな場所もあるので、私にとってちょうどいいからだった。

あとはクリスチャンがさきに言ったとおり、名古屋は日本の真ん中にあるので、東京も大阪も近いので結構便利で、また、私は海が好きで近いので結構行くが、実は出発の前に他の日本人が、名古屋は都会で工業が多くて海はあまりきれいじゃないと言われ、すごく心配していたが、ここに着いたときに、そうじゃないと思って、ここにもすごくいい場所がある。

ドイツ人は日本が遠いので、日本のイメージは大体芸者とか、すしとか、東京を想像す

ることが多いが、他はあまり知らないと思うので、それをちょっと変えていくとよいと思う。特に愛知県は何が特別か、外国人の人にはそれが分からない。例えば名古屋は食べ物としてウナギが有名だが、ドイツ人はウナギが何か、おいしいとか、言葉だけではそれが分からないので、ツイッターに写真を載せたり、録画をしてそれを見せて説明したらよいと思う。

名古屋にも、モダンなポイントがあるが、ちょっと名古屋を出ると古いまちもある。多分ドイツ人にとっては、それが伝統的な日本で、例えば犬山に行くと犬山城や明治村があって、それは本当に伝統的な日本なので、それも紹介したらよいと思う。それはちょっと東京と違うので、その特別さを紹介したらドイツ人も分かると思う。

ここにもいろんな祭りが行われているが、ドイツではあまり有名じゃないので、どんな祭りがあるか、例えばおいでんまつり、花火大会では、日本人は夏は花火大会で浴衣を着ていて、そこに行けば花火を楽しめるとか、あとははだか祭りも結構ドイツ人にとっておもしろい祭りで、漫画とかアニメに興味がある若い人以外は日本をあまり知らないので、本当に特別なこれらのことを、今一番使われているインターネットで、録画して紹介すればよい。

あとは、ドイツには日本の青年があまりいないので、時々日独協会のイベントでパンフレットとかチラシをつくって、愛知県は何があるとか、何が特別とか、どうしていけばいいのか、それを比べるとアピールができると思う。

そして、日本は結構物価が高いと思う人が多いが、本当に地域によって違うので、愛知にも安い食べ物、安くておいしい食べ物がいっぱいあることを何か宣伝したほうがよいと思う。そして、中部国際空港は直接フランクフルトから行けるので、空港のチケットもそんなに高くないし、本当に物価もそんなに高くないので、それも結構何かアピールができると思う。

**【ファ・ヤー・ティエン】** 愛知県の魅力といえば、最初にはすごく住みやすいところ。東京や大阪みたいに忙し過ぎず、静岡みたいにそんなに穏やか過ぎずほどほどで、物価も、部屋探しも、アルバイトの仕事を探すことも容易に探すことができる。

また、愛知県は、都市と自然、過去と現代、山と海といった対極な両面を1つの県に凝縮されたところもすごく魅力的。名古屋から1時間以内でいろんなところに行ける。海も行けるし、山も行け、すごく観光できるところも多い。また、愛知県といえば歴史のあふ

れるまちでもある。名古屋城とか犬山城といったところはきれいなだけではなく、歴史と  
いった聖跡も残っているので、外国から来た私たちにとっては日本のことを勉強するた  
めにすごく役に立っている。

また、春に名古屋城に行くと、桜と一緒に映っているお城の姿はとてもきれいで感動し  
た。また、愛知県に住んでいて、毎年夏になると花火大会がとても楽しみだ。みんな浴衣  
を着て花火を見に行ったり、金魚すくいをするのはすごく日本独特のところだと思う。

岡崎の花火大会、豊橋の伝統的な手筒花火はすごく独特で、私は毎年見に行っている。  
毎年感動するので、ぜひそういうところも世界の皆さんに知らせた方がよいと思う。

また、私はファッションにすごく興味がある。名古屋の栄とか大須という街は最新のフ  
ァッションでいつも先端を行っているので、まちを歩いているだけでも、今何が流行して  
いるかすぐ分かる。値段も高過ぎず、手ごろな値段で自分の好きな服を手に入れられ、私  
たちみたいな若い世代にとっては非常にうれしい。

こういったところが、私にとって愛知県はとても魅力的なところだと思うが、意外にベ  
トナムでは愛知県についてはあまり知られていない。みんな日本といえば、多分東京か大  
阪か広島、横浜とか、そういう有名なところしか知らない。私が自分で行ったり、観光し  
たりしたところやイベントなどを今フェイスブックに写真とか動画とか、花火大会の動画  
とかを載せたりすると、みんなからすごくきれいだとか感動されて、桜の花とかを見たり  
すると、みんなに「どこで撮ったの」とか聞かれ、「愛知県の名古屋で撮ったよ」とか、  
みんなに知らせると、「名古屋ってそういうきれいなところなんだ」とか聞かれる。

結構、私の友達もウェブサイトやブログはあまり見なくて、ほとんどフェイスブックで  
みんな情報を交換している。フェイスブックは、今、世界共通なウェブサイトだと思うの  
で、そういうところで愛知県もアカウントをつくって、私たち留学生を通じて発信したら  
よいと思う。また、ベトナムでもいろんな国際交流、文化交流フェスティバル、国際交流  
祭みたいなのが毎年行われているが、それは日本の一般的なイメージで、例えば桜とか、  
侍とか、忍者とかだけなので、そういうところで愛知のコーナーもあって、愛知について  
みんなに知らせてあげるとよいと思う。

**【張敬清】** 私は日本には、2000年に北九州の大学に留学で来た。就職活動で苦労し、  
やむをえず、東京に2カ月居候して仕事を探しに行き、そこで見つかったのが愛知県の会  
社だった。出稼ぎで名古屋に来た。車の部品メーカーでずっと人事の仕事をし、留学生の

採用担当をしていたのがきっかけで、最初はボランティアで始まって、今は株式会社 k e i s e i という法人を立ち上げて、主に留学生の就職支援と、もう一つは海外に進出する中小企業に留学生人材を紹介する、そういう仕事をしている。

例えば、名古屋大学留学生センターの松浦先生と2008年から名古屋大学の中で留学生専用の就活支援プログラムを始めて、学内で留学生の就職支援体制づくりに努めてきた。もう一つは、今日来ている留学生のファさんやミリアムさんのように、彼らを必要としている企業に紹介するという仕事をしている。

本日のテーマだが、先ほど3人とも住みやすいという話があったが、まさにそのとおりで、住みやすさが私も感じている名古屋、愛知県の魅力。

おもしろいデータがあり、先ほど一番冒頭で紹介された愛知県に約20万人の外国人がいるということだが、実は日本全国で約200万人外国人登録者がいる。先ほどのデータでは、1位は東京約40万人、2位は大阪20万6,000人ぐらい、3位は愛知県で、20万600人ぐらい。では、登録している外国人はどのような目的（在留資格）で各地にいるのかを見ていくと面白いものがある。まず大阪では約半分は特別永住者である。特別永住者を除き、永住・配偶者・定住者の占める比率で行くと、東京は40万人のうち4割で、大阪は3割であるのに対し、愛知県は6割で、皆さんが住みついているということだ。

もう一つ、ぜひ皆さんに報告したいことで、問題提起になるが、まず、国籍では、先ほど冒頭のデータにブラジルの方が約3割、あと中国の方が23%と、わりと愛知県は国籍が本当にバランスがよい。東京は中国籍の人が約半分で、韓国・朝鮮の方は約3割だ。大阪でいくと逆に半分は韓国・朝鮮の方だ。では、在留資格で見ると愛知県には、まず1割は技能実習生、永住・配偶者・定住者は6割。じゃ、留学生はどれぐらいいるかというと、実は4%、6,000人。東京は15%、6万人の留学生がいて、その10分の1に過ぎない。大阪の留学生数は愛知県の2倍以上、1万4,000人ぐらいなので、愛知県には留学生人材、いわゆる高度人材が少ないことを、私は非常に問題と思っている。

冒頭で話をしている住みやすさというところは、ここに住んでみないと分からないので、愛知県の魅力を世界に発信するためには「人」がキーワードだと思う。いかに人を呼んできて住んでもらうか。いかに皆さんに伝えてもらうかということが大変重要なテーマだと思う。その中で、当然製造業には、どうしても必要な人材が要ると思うので、もっと高度な人材を、もっと留学生をいろんな形でもっともっと受け入れてほしいと思う。

【大村知事】      ありがとうございます。

たしか愛知県の大学と大阪の大学とは、数は若干大阪の方がちょっと多いぐらいで、大学生の数は一緒なんですよ、ほぼ。20万人ぐらい大学生がいてね、愛知県内で。大阪も同じぐらいなので、それで留学生がそれだけ差があるというのは、やはりちょっとそれは大きな課題かなと。私も前からずっと愛知県はもっと愛知の大学に留学生をもっと受けなきゃいけないというふうに思っているんで、確かにおっしゃるとおりだと思います。しっかりやっていきたいと思います。

【一舞】      ウクライナから初めて日本に来たとき、来る前にニュースで見ていた高層ビルと東京、人が多くてみんな忙しそう、というのが日本のイメージだったが、来たのは愛知県だったので、イメージとちょっと違うなとそのときは思った。けれど、やはりさっきのお話で、「人」というのが大事なポイントだと思う。愛知県に来て優しさというか、心の温かさというか、道を聞いたり、日本語がしゃべれなくても片言の英語で会話をしたりというのはものすごく心に響いた。

駒子お母さんに出会い、芸子、芸妓ってどういうこと、何の仕事と。もともと芸事に興味があっても、なかなか教えてもらうものじゃないなと。その世界に入れてもらうなんて、7年前の私は思わなかったが、3年前に株式会社一駒ができたときに、お母さんの下で同じ仕事をやりたいとお願いしに行った。やはり来たときに、この世界に魔法をかけられて、きれいな着物で、自分的に分からない動きが、ちょっとずつ見なれて、日本語がちょっとずつわかってきたときに、あまりしゃべれなかったが、あっ、すごくおもしろい。あっ、日本語が分からなくても見ているだけで、踊りだとかがわかる。通じる。あっ、なるほど、っと。

今でも日本語の勉強をしているが、歌は説明してもらわないとなかなか分からず、先生たちにわかりやすく教えてもらい、毎回毎回説明してもらい、なるほどそういう意味だなと。もちろんお母さん、お姉さんを見ながら、世界は深いなと。どんどん覚えていても、勉強するのが多過ぎてなかなかできない。2010年の10月5日にデビューし、外国人でその世界に入れてもらい受け入れられるかどうか、どう思うのかすごく心配だったが、やはり外国人をその世界に入れなければ無理じゃないかなと思った。

ですが、皆様の温かい応援で少しずつなれてきて、まだまだ何もできないままだが、そういう世界があって、もちろんウクライナにいたときにすごく遠い世界、現実じゃないみ

たいなことでも、こっちに来てやってみて、もちろん今は向こうに残った家族も、インターネットの情報もあるので日本の大ファンになった。

なので、愛知の魅力は芸事にもあるのではと今は思っている。京都、東京、金沢、そういう世界もあるが、愛知にもそういう世界もあるので、ぜひ世界中の方たちにそういう古い伝統文化を見てほしい。

【石川クラウディア】　まずは、愛知の国際交流の現状について、リーマン・ショックの影響の大きさは、多分愛知の国際交流の観点からは無視できないと思う。私は三河地方に住んでいるが、そこに住んでいる外国人の数が明らかに減少していて、2008年から3万人が減少し、毎年1万人がいなくなっている。そのほとんどは多分日系ブラジル人で、名古屋はまたちょっと違う特徴を持っていると思うが、三河地方の国際交流はこの3年間に大分変わってきたと思う。

では、今日の愛知の魅力について話すと、もう既にいろんなお話があり繰り返しになるが、東京、京都、大阪に比べて愛知は地味で特徴が少ないとよく言われる。名古屋は先進的な面を持つ集約都市であり、そして、愛知県は今でも生産業のパワーハウスである。

また、歴史、伝統、そして、今話題になっているが、食文化を持つ地域だ。もう食文化ツーリズムも可能かなと思う。つまり、愛知県は他の都府県にはなかなか見られない様々な魅力を備えたバランスがある。このバランスは大事で、あらゆる外国人が楽しめる場所となっている。

私の職場は名古屋、住まいは西三河で、今までに碧南市、知立市、安城市、刈谷市等に移り住んできたが、愛知はどこであっても充実したインフラがあり満足している。具体的には、交通機関のアクセス、お店の営業時間やサービスのよさ、また、医療や教育へのアクセスも1つの特徴だ。他県と比較しても、愛知県のインフラはそろっていて、不況の中でも少し余裕を感じさせられる。私のような長期滞在者にとってこうした生活基盤のよさは極めて魅力的で、このことをもう少し上手に宣伝してもよいのではと思う。

では、愛知の魅力の発信の仕方についての感想と、また、愛知はどのように紹介したらよいかについて。正直なところ見たことはなかったが、今日の企画を考えるときに愛知県の公式ウェブサイトを見つけた。そこにある情報の量や多言語サポートなどは高く評価するが、改善の余地もあるかなと思う。例えば、トピックスや新着情報は県HPの多言語サイトにはない。つまり、情報がある程度で死んでいると思われる。生きていない。また、

その多言語サイトにビジョンやコンテンツも少ない。写真とかいろいろあるが、その魅力は多言語サイトでは見れない状態だ。また、海外にPRするならフェイスブックやユーチューブなど、他のウェブ機能の活用を検討すべきではないかと思う。いろいろな形があるかと思う。

また、別の観点になるが、イギリスにおける愛知の認知度は、残念ながら高いとは言えない。でも、ここは多分県が独自でPRすることに限界があると思うので、日本政府観光局、JNTOですね。ジェトロとか、外務省とか、日本学生支援機構など、日本の代表する機構と積極的に連携してPRしていくことが得策だ。1県だけは多分できないものがあるかなと思う。

でも、愛知のアイデンティティーを明確にし、その上で愛知が外国人を歓迎しているのを広く告知することが国際交流強化のために肝要だ。対象である外国人をターゲットごとに絞り、PRしていくことが大切。外国人観光客を増やしたいのか、それとも、外国人の就職や外国のビジネス、取引を増やしたいのか、それぞれの目的に分けてPRすることが不可欠だと思う。

**【チェ・ヨンファン】** 株式会社ナゴヤキャッスルでホテルの営業をし、名古屋に来てもう今年で11年目になる。ということは、皆さんが言われたように、すごく住み心地のいいところという証拠だと思っている。

皆さんの中で多分愛知のことを、この国を出て一番プロモーションする立場の人間だと思う。特に日本の47都道府県の中で愛知、名古屋以外はほとんど競合相手だ。この国を出て海外でプロモーションしている中で、愛知、名古屋をどれだけプロモーションしてきたか。その中でどういう苦勞をしてきたかということだと、やはり知名度が薄いので、愛知はもちろんだが、名古屋でさえよく知られていないので、愛知、名古屋を一生懸命売ってもなかなか理解してもらえず、一応日本の地図を出して、東京、大阪、その真ん中のところが名古屋ということをお皆さんに示しながら一生懸命やってきた。

何よりも愛知、特に名古屋も含めてだが、あまりにも観光資源が多過ぎることが逆にすごく短所になると思うので、その中でやはりまとめて集中をして、統一的なイメージを外に発信する必要がある。例えば東京だとやはり日本の代表的な都市なので、そういうイメージはもちろんあるわけで、大阪、もちろん大阪という道頓堀のイメージがお皆さんのほうには多分浮かんでくると思うが、愛知のよさというのは、もちろん2005年に愛知万



博もあり、これからの日本、未来の日本という、エコフレンドリーのまちということを発信すべきじゃないか、と私は考えている。ということは、今トヨタを含めてスマートハウスだったり、いろいろこれからの時代に合った新技術を発信しているところだが、そういうものをやはり日本だけじゃなくて、世界に発信すればよいと思う。

ミリアムさんも言われていたが、海外にプロモーションする前に、やはり日本の国内での愛知というイメージをもうちょっと一生懸命発信すべきじゃないかと。やはり何も知らない外国の方が日本に行きたいというときに、どこへ行くかといったところで、愛知、名古屋といったら、日本の国内の方が、「えっ、行っても見るものが何もないよ」と言ったらそれで終わってしまう。それはやはり経験から結構皆さんそういうものを持っていると思うので、海外ももちろんだが、国内でのそういうイメージ改善のための努力も必要ではないかと思う。

この地はものづくりのまちということもあり、特に名古屋に来る外国の方は、純粋に観光を目的で来る方よりも、やはり企業研修、それとビジネス関連の方が多くみえる。ということは、本人の意思とは関係なく仕事でここへ来る方なので、その方にもっと愛知のよさ、魅力を発信すべきじゃないかと思う。やはり外ではあまり観光情報というのがないので、それをとりあえずこちらに、中に入って来たお客さんに対して徹底的にここのよさを発信すべきじゃないかと思う。

それと、戦国時代のことももちろんだが、侍といったイメージはどういうものかということもちょっと考えるべきだと思う。侍というイメージは決していいものではない。それは戦争をイメージしていると。日本のイメージ、イコール侍ということは、結局戦争をイメージする部分でのマイナス的なイメージを発信する可能性もあるので、やはり徳川家康という戦国時代を終わらせたすばらしい方の国づくり、平和のイデオロギー、戦争よりも平和の部分をもっと愛知から発信すべきだと思う。

仕事の中で何よりも、特に名古屋の観光コンベンションビューロー、それと韓国の釜山の観光協会が観光協定を結ぶところに私は少し関わったが、やはり人の交流だと思う。やはりそうすることによって自然体で人が行ったり来たりできると。それでもって草の根のおつき合いができるから、この愛知のファンを自然に増やすことができると思う。地方自治体は地方自治体でそういう機会を増やすことが何よりも大事だと思う。

それと、海外の皆さんが特に愛知に来て何がしたいかといったところでは、日本の方が思うには何かお寺へ行ったり、神社へ行ったり、もちろんそれもすごく大事だと思うが、

一般の日本人が今やっていること、一般の日本人が今食べているものだったり、そういう日常生活のものがある意味では一番知りたいところだと思うので、そういう部分で、もっといろいろ発信すべきだと思う。

特にビジット・ジャパンという国を挙げてのキャンペーンで、1,000万人目標という形で一応頑張ってはきたが、今のところ800万人のところちょっと落ちているところで、どんどんこれからも海外からこの愛知に来てもらうために努力するつもりだ。

【エリック・オルソンキクチ】 私が、非常に興味があったのは、グラフで留学生の数、1990年は1,393人しかいなかったという数字で、実は僕は87年に南山大学に留学したときに多分そのぐらい、1,000人ぐらいだったかもしれないが、その中の1人だった。私はもう行ったり来たりしているが、1人の留学生としての角度から見た名古屋と、卒業して働き出してデザイナーとして見た名古屋人と、今は教育者として見ている名古屋人、自分も名古屋人だと言っているのだから、愛知の人でも。その3つの角度から名古屋、愛知、中部を見てきている。

いろんな意見を、ずっともう20年近く友達や同僚、先生からいろんなことを聞いて、言いたいことがいっぱいだが、今は皆さんからもうお話が出たように、もちろんこの愛知の魅力は伝統であったり、産業の力であったり、緑の豊かさ、場所的にすぐ山へ行こうと思えば山へ行けるし、海にも行けるし、大阪、東京も行けるし、それもそう。でも、自分が個人的にどうして名古屋にこれだけ長く住んでいるかという理由は、やはり「人」である。人と温かい家族のようなつき合い方をする名古屋人は今まで東京とか他の人とちょっと違う。その保守的なところが実は最初はちょっと壁が高いと思うが、その壁を超えたら、もうその人間関係が深くできているので、もう多分私は死ぬまでで、名古屋の友達が一番深くつき合っている人が多いかなと思う。

その裏には、名古屋、愛知は都会のよさとまた田舎のよさも一緒になっていると思う。具体的には言いづらいが、これもまた愛知の問題で、PRをしなきゃいけない。何がどこでPRが足りないとか、そういうところよりも、もうちょっと人の力、それを上手に、ここは住みやすい場所だよと。その裏には人が一緒に住みやすくしているから、だから、住みやすいというのはパンフレットには書きづらいし、はかりにくい。それをどういうふうにするかが課題だと思う。

人のつながりが一番いいのはいろんな面で見えるが、もちろんビジネスのコネクション

もそうだし、家族が住みやすい、安全。そして、やろうという意思があれば、外国人でもその地域と交流が気楽にできることだと思う。やろうという意思を育てようとする地域もあるので、それがまたすごくおもしろいと思う。

でも、一番の課題、「人」を売り込むということ、愛知のよさは人ということのを売ろうと思えば、非常に売りにくいのだが、2つのことが大事だと思う。1つは、やはり海外に出ていく留学生、日本人、海外に住みに行く愛知の人が足りないのではと思う。また、やはり出る人は愛知の代表で出ているというふうに責任を感じてもらわなければいけないと思う。私も海外へ行くときに、自分が今は愛知の人だということを胸を張って行くが、実は愛知のことを知らない人が多い。名古屋も知らない人が多い。でも、トヨタ、ノリタケ、NGKはみんな知っている。だから、何とかやはり出ていく人の数を増やす。出ていく人の責任感をしっかり理解させたほうがいいと思う。

逆にここに働けるような環境、外国から来た人がここで働けるような環境を一生懸命考え直したほうがいい。もちろん今産業を支えている外国の労働者もたくさんいるが、様々な産業からいろんなところ、IT、ファイナンス、教育とかどんどんそこで海外から人が呼べるような環境をつくればと思う。愛知万博は何がよかったかという、やはり交流があったからで、交流がすごく重要。そこからもっと愛知の知名度が上がるかなと思う。

**【大村知事】** さて、一回り回りました。ありがとうございました。

それでは、どなたからでも結構ですので、まだ言い足りないということがあればご発言いただきたいと思いますが、いかがでございますか。

**【石川クラウディア】** 今の愛知の人を外に出す、こういう人を増やすというコメントに対して。名古屋大学の話になるが、名古屋大学には1万6,000人の学生がいる。そして、スタディー・アブロード・オフィスが毎年出している日本人学生を、違う地域に出す名古屋大学の日本人学生数は50人と非常に低い。

そして、多分愛知県の誰もが、愛知県が非常に暮らしやすいから、就職も基盤も出ている。名古屋大学の場合、多分95%の学生が就職できる。1つには、そういうことがあって外に行かないかもしれない。

**【大村知事】** 行かないですね。名古屋大学って地元の人がほとんどで、名古屋大学へ

行ってトヨタ関係の会社へ行くというのが一番。私の回りもみんなそういう人が多かったからなあ。ありがとうございます。他にいかがですか。

【クリスチアン・オチア】 あと、侍の話をもう一回したいと思うが、コンゴで侍のイメージは戦争ではなく平和のイメージ。実は学校、大学で勉強したのは、侍は平和のために戦争したということ。例えば名古屋、愛知からは3人の有名な侍がいて、その中の一人が徳川で、彼は日本が一つになるために戦争した。そのイメージがすごくコンゴにはある。だから、みんな何かいいことをしたとき、「私は侍スピリットを持っている」、と言う。例えば、頑張るときに、「私は侍スピリットを持っている」、学校を卒業するためにたくさん勉強したら、「私は侍スピリットを持っている」、など。そのイメージはすごく大事だと思う。でも、愛知では私はそれを聞いたことない。その話が出ていない。だから、コンゴでPRをする愛知のいいポイントはたくさんあるが、それは出すのがすごく大切だと思う。

【大村知事】 ありがとうございます。いかがですか、その他は。

【ミリアム・ゼール】 チェさんがさきに言っていた、観光客だけでなく、外国人が来るときには普通の日本人がやることを紹介すればいい、について。私はここに住んでいて、神社が好きで、お寺もよく行き、お城めぐりみたいなこともやっているが、問題は、例えば日本語ができないと、どうすれば普通の日本人がやることを紹介すればいいのか。外国人にとって普通の日本人は何をやるか全然分からないので、例えばどんな祭りがあるとか、1月1日にどこに行くか、それは全然知らないで、それはちょっと難しい。だから、例えば観光客がそこに来ると、英語の案内があると役に立つと思う。日本語が分からないと、地下鉄に乗るのは多分そんなに問題はないが、神社に行くと何が特別とか、日本人は何をやるかは分からないので、英語とか、外国語の説明がないとちょっと難しい。

【大村知事】 観光地、大きな観光地にはあるのですが、あまりないのかな。空港だとか、鉄道だとか、新幹線だとか、地下鉄とかにはありますよね。でも、大きな観光地以外はないかもしれませんね。

【張敬清】 今の話の続きで、実は前に考えたことがあり、留学生の口を通して愛知県

の魅力を伝えていくこと。今の観光ガイドの話だが、たくさんいる留学生の皆さんをオーガナイズして、ボランティア団体、もしくは旅行協会と連携をとり、地元の留学生による愛知の観光ガイドができないか。留学生が実際生活しているので、彼らが知っている愛知の穴場、知っている地元の愛知を伝えられる。少し前は新聞、ニュースで中国人が家電とか買い物ばかりのイメージ、報道があったが、もしも地元を知っている留学生のガイドがいれば、買い物だけではなく、本当の日本を伝えられる。それは1つ提案だ。

**【大村知事】** なるほどね。それは大事な話ですね。留学生の口コミでやると。ネットワークでやると。それと、あと英語の案内板というのは、街中いたるところにぺたぺたっって感じにする、それもあるかもしれませんね。大事なことだと思います。ありがとうございます。

他にいかがですか。さらにいろんなご意見をいただければと思いますけど。

**【ファ・ヤー・ティエン】** 日本人の日常生活が外国人からは一番見たいところだが、そういったところで愛知県が各国と連携をしたり、ホームステイをしたりすることがいいのではと思う。

この夏にも豊橋技術科学大学でサマースクールという活動があって、中国からの大学で留学生を日本に招いて、いろんなところに紹介し、ホームステイもやり、とても豊橋のことがみんなに伝わったと思う。また、外国で日本の国際交流文化祭というのを開くことと、愛知県か名古屋で外国のフェスティバルみたいなものを開ければ、例えばベトナムフェアとか、イギリスフェアとかをやれば、その国のマスコミが集中すると思う。そこで、そういう自国にもいろいろと発信することができると思う。

**【大村知事】** ありがとうございます。そうですね。やはり愛知県に住んでいる方は多いので、例えば中国だと春節にいつも、久屋大通公園で寒いときにやりますが、韓国は韓国料理の何かあれも久屋大通公園かな。やりますよね、毎年。あとドイツビールのフェアとか、この辺の暑い時期にやっていたようで、何かいろんな各国別のやつが結構あり、そういうのはやはりたくさんの方が集まるので、PRというか、そういうようなものはこれからまたしっかりやっていければと思います。ありがとうございます。

他にいかがでございますか。どなたからでも結構ですけど。

【ミリアム・ゼール】 どうして留学生がここに少ないかというのは、多分東京に行くといいことや何となく生活ができるというイメージがあるから。多分名古屋に行くと、都会といっても多分英語はちょっとだめだなと思う人がいるからだと思う。でも、愛知にも英語ができるボランティアがいることを伝えれば安心して、留学もうまくできると思う。「私たちのスタッフは英語ができて、ボランティアも一緒にどこかに行くので安心してください」、と他の外国の大学に伝えれば、留学生の数が増えるかもしれない。

【大村知事】 なるほどね。それは大事なことです。

【エリック・オルソンキクチ】 あと、私が思うにはそれだけじゃなくて、やはり東京では大学を卒業したら東京で仕事につながるようなコネクションが多いと思う。この名古屋で外国人が卒業しても、名古屋の大手企業が外国人を正式社員に雇うことにそれほど魅力を感じていないと思う。

【石川クラウディア】 ただ、工学部関係の人だったら、もう絶対愛知が一番かなと思うが。

【ミリアム・ゼール】 多分短期留学生は別に気にしないので、卒業を別にしなくてもいいので、本当に短期の留学生はもっと名古屋に行くなら、名古屋はどんな場所とか、特別な紹介をすることができると思う。

【大村知事】 確かに今言われた技術系の、理科系の方は製造業のニーズは相当ありますよね。いかがですか。

【石川クラウディア】 留学生の数の話に戻りますが、名古屋大学では、去年から5つの英語で取れる学位を一応開いた。オーバー13のプログラムだが、名古屋大学は国際化拠点大学として採択され、今はもうその英語で学位を取れるプログラムが5つある。学部レベルでのプログラムだが、また大学院レベルでも7つある。あとは南山大学でも、もちろん立派な、もう歴史の長い短期留学プログラムがある。ただ、名大と南山だけで、他の大

学は多分そこまで英語でのプログラムを開催していない。それで留学生が入ってこないかなと思う。

【大村知事】 なるほどね。でも、確かにさっきエリックさんが言われた東京はありとあらゆる職種があるので、ここは確かに製造業の、だから、理工系の学生だとあれですけど、特に文科系はなかなか就職が少ないのは、やはりそこは大分東京とのハンディキャップかなという感じは、それはもうおっしゃるとおりだと思いますね。やはり東京はありとあらゆる業種が、仕事があるので、そういう意味ではやはりこちらで学事の留学生に来てもらうんだったら、そこでその後もちゃんと働く場もありますよというふうにつなげていくというのは非常に大事で、これは張さんがやっている仕事につながるのでしょうか、そうになるとやはりもっと来ますよね。

【張敬清】 私は仕組みの問題だと思う。企業がほしい人材は理工系だけじゃない。ものづくりの愛知なので、理工系のほうが、企業に一番求められていると思うが、実は外国人の留学生が活躍するフィールドは3つある。それは文系、理系問わず。1つ目はローカルスタッフ (Local staff)、要するに日本の企業の海外現地法人で活躍してもらうローカルスタッフ。2つ目はリージョナルスタッフ (Regional staff)、リージョナルというのは海外現地と日本の本社をつなぐパイプ役。3つ目は日本の本社、これはグローバルスタッフ (Global staff) と言っていて、日本の本社にいながら日本とアジア、日本とヨーロッパ、日本と他の国との、それは英語が必須だが、大手企業はこのグローバルスタッフを一番今求めている。特に海外拠点も長い会社では。

しかし、見てほしいのは中小企業で、彼らから見れば、このリージョナルスタッフとローカルスタッフは非常に枯渇している。なので、大学と企業がもっとタイアップして、留学生たちにもっと企業を知ってもらい、企業がどんな人を必要としているか、企業という出口を見据えた人材育成が必要と思う。

もう一つ、英語の話があるが、英語だけでは日本の企業では就職できない。日本の会社がまず日本語で、当然英語は今、基礎能力として上げられているが、圧倒的に多くの会社では基本的に日本語を使う。それより、日本の文化、習慣に馴染めないことが外国人の離職する一番の理由だ。それが、日本の企業が外国人の留学生を採用しない、怖いと思っている理由でもある。そういった点も日々もっと大学と企業がタイアップしながら、教育を

していきながら、言葉と考え方も含めてやっていくことが非常に大事だと思う。

実際、私たちも日本組織なじみ塾というプログラムを行っており、今年で3年目だが、名古屋大学を中心とした愛知県の全ての大学の留学生が参加可能で、これは在学中に日本の企業が大事にしている4つの力、コミュニケーション能力、チームワーク、問題発見、問題解決力。当然日本語も大事で、それを鍛えている実践型プログラムだが、アルバイトしながら、そこで自ら1つ改善テーマを探して、PDCAを回しながら改善していくことだ。それをまた発表してもらおうという、アルバイトという実践の場で、単なる800円を稼ぐだけじゃなく、日本の企業に入社してからの心構え、日本人とどうつき合うか、どうコミュニケーションをするか、どう一緒に仕事をするかと事前に教育している。まとめると、出口を見据えた人材の誘致、そして、企業のための人材育成が必要というふうに感じている。

**【大村知事】**      ありがとうございます。おっしゃるとおりだと思いますけれども、とにかく現に20万人も、一番多かったのは23万人ぐらいいたわけですから、リーマン・ショックのあれも大分回復しましたね。また増えてくるというふうに思いますけど、そういう意味でも留学生の方、外国人の方にも来ていただくためには、そういった働く企業とのマッチングというのは大事だなというふうに思います。

他にいかがでございましょうか。さらにご意見。

**【ファ・ヤー・ティエン】**      英語圏の留学生についてだが、実は豊橋技術科学大学は工学部だけで、学生全体は2,000人ぐらいで、その中の250人ぐらいは留学生で10%ぐらいを占めている。その中の半分以上が英語圏の留学生だ。そういうのができるのは、大学側が外国に行って大学の宣伝をしたり、英語の授業もやったりする。そういうことで、外国の大学がうちの大学のことを知ってもらい希望してもらおう。それで、英語圏の留学生を寄せつける。名古屋とか愛知に来てもらうために、大学側がすごく大事な役割をとっている。

**【大村知事】**      ありがとうございます。

他にいかがでございましょうか。

**【クリスチアン・オチア】**      同じ話で石川先生も話したが、名大では今13プログラムが



ある。でも、私が日本へ来る前には大阪大学を選んだ。実はコンゴでは大阪がすごく有名で、大阪大学も有名。でも、私の専門は国際開発研究で経済学を勉強している。日本では名古屋大学の国際開発が一番有名だが、それはあまり知らなかった。あと、国際開発研究科では英語で勉強し、日本人の学生も英語で勉強して、留学生も英語で勉強している。でも、それはみんな多分知らない。だから、そのコミュニケーションはすごく大事。

名古屋では名古屋国際センターがあり、そこで留学生とか外国人がよく集まっている。だから、今後どうやって愛知県と名古屋国際センターがコラボレーションして、PRしていくかがすごく大事。

名古屋国際センターにはすごく外国人も来て、またウェブサイトで名古屋のイベントが英語で書いてある。でも、一番の問題は、名古屋と名古屋の近くのイベント情報はあるが、名古屋から遠いところのイベント情報が出ていない。例えば岡崎の花火とか、名古屋の、愛知のオウンイメージが出ていない。だから、名古屋以外の情報発信をしたらいいと思う。

**【石川クラウドディア】** 特に大事な点だと思う。本当に今は、愛知県に行くといっても、名古屋市しか行かなくなっている。だから、やはり三河地方ももう少し宣伝してもいいし、そこにあるイベントの宣伝もしてもいい。だから、ここでは多分愛知県のホームページの多言語版に、ぜひ何の祭りとかイベントがあるかを掲載してほしいかなと思う。そして、私たち大学関係者も愛知県のホームページを見てとか、そういうのも指導できるので、ぜひやってほしいと思う。

**【大村知事】** だんだん時間が迫っておりますが、さらにいかがですか。もう一言だけ言っておきたいとか、一舞さんいかがですか。愛知とか、名古屋のイメージとか、あと、やはりウクライナと日本は結構ちょっと遠いかなと思いますけど、イメージは大分変わりましたか、一舞さんは。

**【一舞】** 来てからやはり情報が少な過ぎるということだと思うが、日本に住みながら愛知県の魅力を向こうに伝えるのは難しい。ウェブサイトだとか、インフォメーション的なことは大体英語で書いてあるが、私たちは旧ソ連の国で17カ国入っていて、みんな自分の国の言葉を持ちながらロシア語もみんな話せるが、ロシア語はない。

【大村知事】　そうですね。まだちょっとやはりどうしても、ただ今度はあれですけどね。豊橋の三河港というか、豊橋の港からロシアのウラジオストクに行く定期便が今度できる。定期便といっても、トヨタの自動車の部品を運ぶんですね。ウラジオストクに工場をつくって、そこでトヨタがランドクルーザーを組み立てるというプロジェクトが来年の年明け1月から始まりますので、そうするとまた大分近くなるかもしれませんね。そう思いますけどね。だから、どうしてもビジネスなんですね、ここはね。だから、もっともっと人が交流すると、もっと来ていただいたり、我々がもっと行くというようなことになるといいかなというふうに思いますけどね。

ありがとうございました。それでは、もうそろそろ予定の時間が参りました。じゃ、私から一言お礼のご挨拶をさせていただきたいと思います。

本日は、いろんなお立場から多くのご意見を、貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。心から御礼を申し上げたいというふうに思っております。我々では気づかないようないろんなご指摘やご意見をいただいたということを大変ありがたく思っております。英語でいろんな行事、イベントをもっとPRすべきではないかとか、また、留学生のネットワークを使ってもっともっとPRをしたらどうかとか。英語で生活できる、英語でのいろんなボランティアガイドみたいなものもやったらどうかとか。ちゃんとここで暮らせるんだということをもっとイメージしなきゃいけないと。そこはおっしゃるとおりだというふうに思います。

ですが、この間ちょうど1週間前に愛知県の防災訓練、9月1日が日本では、もう今から90年、もっと前ですかね。90年ぐらい前に関東大震災があったので、9月1日が防災の日になっているんですね。その前後に愛知県も大きな防災訓練をやるんですけども、今年豊田市でやりまして、そこで災害のときにいわゆる外国人の方は豊田市が多いものですから、地震とか大きな災害があったときに、外国人の方の窓口をつくるそういう訓練もやっております、そこは中国語とポルトガル語と英語ですね、土地柄的に。多分ポルトガル語の窓口へ行く方が一番多いんじゃないかと思いますが、そういったこともやっておりますので、そういったことをしっかりと定着をさせていければというふうに思いますね。

あと、また留学生を増やすために、そこで卒業したら働く、就職することができるという、そういうこともつなげていくということも、これも大事なことだと思いますので、そういったこともしっかりとやっていければというふうに思っております。

1つずつのご意見はまとめまして、また皆さんにもこういったご意見をいただいたという事でまとめて、またお届けをさせていただきたいと思いますが、今日のものはまとめて愛知県のホームページでも、ウェブサイトでも紹介をしていきたいというふうに思っております。今日いただいたご意見をしっかりいただきまして、今、我々今年愛知県としての国際戦略をつくろうということで行っておりますので、そういった形でまたぜひそちらのほうにも反映させていければというふうに思っております。また、これをご縁にいろいろなご意見をいただけるようお願いしたいというふうに思っております。

今日は本当に貴重なお時間をいただきましてありがとうございました。大変充実した有意義な時間だったと思います。これからも何とぞよろしく願いをいたしまして、私からの御礼の挨拶といたします。どうもありがとうございました。